



病院外観、2階からは山田湾も見えます。

岩手県立山田病院を紹介します。まずは基本として病院の所在地からですが、当院は岩手県沿岸で下閉伊郡山田町にあります。山田町の人口は令和6年10月1日時点で13,930人、ニュースなどでは岩手県沿岸北部に位置しているなどと言っていますが、沿岸南部との境界にあり沿岸中央部（と言ってもらえればイメージも良くなる？）です。気候も穏やかで海の幸山の幸も美味しい所です。山田湾では牡蠣やホタテの養殖が盛んで、湾に浮かぶ無数の養殖いかだは壮観です。



リアス式海岸の山田湾、よく見ると海の上に養殖いかだが見えます。

宮古圏域（田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町）にある地域病院の当院は一般病床50床で回復期～慢性期患者さん中心の診療を行っています。山田町で唯一の入院可能な施設です。当院の沿革は病院ホームページにあるように、昭和18年5月に県産連山田病院として開設され、昭和25年11月に県営移管され岩手県立山田病院に改称となっています。平成18年に病院新築移転しましたが、平成23年3月11日の東日本大震災により被災。仮設診療所での外来診察を経て、平成28年9月に現在の場所に新築移転し入院診療も再開しました。病院は「山田町防災エリア」と呼ばれる高台にあり、周囲には警察署、消防署、山田中学校があり、今年の8月には新築された山田小学校が東隣に開校しています。

当院は内科医4名、外科医1名の計5名の常勤医で外来および入院診療を、眼科と整形外科および小児科は非常勤で週1～2回の外来診療を行っています。診療時間内の救急患者を受け入れています。夜間・休日は車で30分程度の宮古市内にある基幹病院の県立宮古病院に救急対応をお願いしています。三陸自動車道が開通してからは近隣への移動時間も短縮されています。

当院では睡眠時無呼吸診療や禁煙外来、メディカルショートステイ受け入れを行うとともに、山田町とも協力し地域医療に貢献すべく出前健康講座や糖尿病教室の開催、地域ケア・包括ケア会議などへも積極的に参加しています。

今後も地域医療を支えるために訪問診療や訪問看護などの在宅医療にこれまで以上に力を入れていくよう、体制を強化しているところです。

岩手県立山田病院院長 阿部 薫